



永田クラブ、経済研究会、国土交通記者会へ公表

令和6年 6月 11日
内閣府政策統括官（防災担当）

防テクPF第1回マッチングピッチイベントを開催します

防テクPFでは能登半島地震対応に有効であった技術・サービスをテーマに、民間企業・省庁から地方公共団体へプレゼンテーションするイベントをオンラインで開催します。能登半島地震における初動対応や応急対策で活用された技術やサービスを多数紹介いたします。参加費無料です。お気軽にお申し込みください。

イベント内容（詳細は添付チラシをご覧ください）

○開催日時：令和6年6月20日（木）、6月21日（金）

○概要

内閣府防災からは「令和6年能登半島地震」の対応で有効だった新技術や方策の説明、企業・関連省庁からは技術・サービス、方策のプレゼンテーションを予定しています。

○開催方法：オンライン

○参加方法：以下のURLまたはQRコードから参加登録ください。参加費は無料です。どなたでも参加できます。

（申し込み期限：令和6年 6月 18日（火）17:00）

URL：https://boutech-pf-r6.resv.jp/direct.php?direct_id=16



（参考）防テクPF（防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム）とは

○災害対応を行う地方公共団体等のニーズと民間企業等が持つ先進技術のマッチングや効果的な活用事例の横展開等を行う場として内閣府が設置したものです。

※詳細は、以下のURLを御参照ください。

<https://www.bosaitech-pf.go.jp/>

<本件問合せ先>

内閣府政策統括官（防災担当）付 参事官（防災計画担当）付
防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム（防テクPF）担当
田中、岩間、吉條 電話：03-3501-6996

オンライン限定イベント

防災×テクノロジー 官民連携プラットフォーム

第1回マッチングピッチ開催

能登半島地震を踏まえ災害対応に有効であった技術・サービスがテーマ

日時: 6月20日(木)21日(金)15時~17時30分

参加
無料

開催方法: オンライン(ウェビナー形式)

能登半島地震を踏まえ災害対応に有効であった技術・サービスを持つ企業が
自治体のご担当者向けに紹介する第1回マッチングピッチを開催。

マッチングピッチの後日、参加民間企業との個別相談会(オンライン)を設定します。

*個別相談会(オンライン)は6月27日(木)28日(金)に開催する予定です。

■発表企業: 能登半島地震を踏まえ災害対応に有効であった最新の技術・サービスを持つ企業等
(発表する企業名と発表内容とタイムテーブルは6月11日に公表します)

テーマ	テーマ番号	対象技術・サービス
 A ライフライン	A-①	水・電力・通信の確保・復旧
	A-②	避難者・支援者の生活/活動環境の充実
 B 情報	B-①	被災状況等の把握
	B-②	情報の共有・一元化

■申込受付

https://boutech-pf-r6.resv.jp/direct.php?direct_id=16

■受付期間

令和6年6月3日(月)9:00~6月18日(火)17:00まで

- *定員は500名になります。
- *参加企業は20~30社程度の予定です。
- *発表時間は1社あたり10分~15分程度になる予定です。
- *オンライン参加にあたっては参加URLと発表開始日時をご連絡します。
- *オンライン配信はZoomのウェビナーで実施いたします。接続可能な機材のご用意をお願いします。
- *マッチングピッチにご参加される団体におかれましては防テクPFにご登録頂きますようお願いいたします。
- *個別相談会はへのお申込方法はマッチングピッチにご参加いただいた際にご案内いたします。



防災×テクノロジー官民連携プラットフォーム・第1回マッチングピッチプログラム

6月20日(木)

分類	タイトル	登壇企業・省庁	登壇時間
令和6年能登半島地震を踏まえた有効な新技術及び方策の概要について/内閣府			15:00～
A-① 水・電力・通信の 確保・復旧	浄水インフラの代替が可能、可搬型浄水装置による災害対応	日本原料株式会社	15:15～
	水循環型シャワーシステム・手洗いスタンド	株式会社WOTA	15:25～
	能登半島地震対応でエリア復旧に活用した機材(ドローン等)について	ソフトバンク株式会社	15:35～
A-② 避難者・支援者の 生活/活動環境の充実	能登半島地震のオンライン再診による地域医療再生	株式会社NTTドコモ	15:45～
	高付加価値コンテナの活用(トイレ、ランドリー等)	国土交通省 医療・防災産業創生協議会 株式会社ニシム電子工業 ファミリーレンタルリース株式会社	15:55～
	医療空白期をうめるモバイル型医療コンテナの活用	一般社団法人医療コンテナ推進協議会 株式会社Sansei ユアサ商事株式会社	16:15～
	ムービングハウスを活用した、迅速かつ多様な仮設施設事例について	一般社団法人日本ムービングハウス協会	16:30～
B-① 被災状況等の把握	能登半島地震 ドローンによる初期災害支援活動	一般社団法人日本UAS産業振興協議会(JUIDA) 株式会社ACSL 日本DMC株式会社 ブルーイノベーション株式会社 株式会社Liberaware	16:40～
B-② 情報の共有・一元化	保健医療福祉活動支援システム(D24H)を活用した避難者支援	厚生労働省	17:10～

6月21日(金)

分類	タイトル	登壇企業・省庁	登壇時間
令和6年能登半島地震を踏まえた有効な新技術及び方策の概要について/内閣府			15:00～
B-① 被災状況等の把握	ドローン等の被害認定調査への活用及び遠隔判定について	東日本電信電話株式会社	15:15～
A-① 水・電力・通信の 確保・復旧	停電・浸水時マンホールポンプ起動支援システム	荏原実業株式会社	15:25～
	遠隔操作による下水道TVカメラ調査	株式会社カンツール	15:35～
	能登半島地震におけるStarlink(次世代衛星通信サービス)活用事例	KDDI株式会社	15:45～
	照明車を活用した避難所への電源供給	国土交通省	15:55～
A-② 避難者・支援者の 生活/活動環境の充実	高機能エアテント等の活用による災害時における生活環境の向上	帝国繊維株式会社	16:00～
	能登半島地震被災地におけるトイレを取巻く課題とトイレカーの活用状況について	株式会社モリタ	16:10～
	医療空白期をうめるモバイル型医療コンテナの活用	一般社団法人医療コンテナ推進協議会 ヴィガラクス株式会社 株式会社ピースノート 株式会社ノルメカエイシア	16:20～
	トレーラーハウスを活用した仮設住宅等の迅速提供	一般社団法人日本RV・トレーラーハウス協会	16:40～
B-② 情報の共有・一元化	保健医療福祉活動支援システム(D24H)を活用した避難者支援	厚生労働省	16:50～
	チャットツールを活用した災害時の情報共有の在り方～情報の属人化を防ぎ効率的な情報連携を実現～	株式会社トラストバンク	17:05～

*スケジュールは変更になる場合がございます。

*医療コンテナ推進協議会・厚生労働省は、20日21日とも同内容の発表になります。